

# 一月 同朋会 休止します

新型コロナウイルス感染予防のため、一月の同朋会を休止いたしました。毎年一月は新年会ということで、場所を移し、お食事をしながら歌かなか難しい現状です。できれば中止ではなく延期として暖かくなつた頃、親睦会を持てればと考えています。楽しみに春を待ちましょ。

## 一月のことば

### 境内の花々



雪景色

—編集後記に替えて—  
坊守の独り言

### 「ジュタと三本脚のタマちゃん」

二〇二〇年が終わります。一年前にはマスクがないと外出できな生活になるとは想像もしていませんでした、「どんなことでも起こり得るのが人生だ」という言葉をまた、噛みしめ直した一年でもありました。

我が家では長女が大学進学のため家を離れ、それと入れ替わるように二匹の保護猫を家族に迎えました。一匹は、車のエンジンルームに入り込んで大声で鳴いていた黒猫ジュタ（『寿多』喜びをたくさん運んでくれる猫）。そしてもう一匹は、瀕死で保護され、左後脚を断脚せざるを得なかつた白黒猫タマ（『珠円』足りないところの何もない大切な宝物）。どちらもオス猫、共に保護当時生後三ヶ月にも満たない小さな仔猫でした。

このジュタとタマちゃん、兄弟でもないのにもとても仲良しです。天真爛漫怖いものなしのジュタと、慎重で愛情深くて意外と強気なタマちゃん。ほんの小さなときに過酷な経験をしたタマちゃんですが、ジュタのおかげで割とすんなり人間との生活にも溶け込み、おかげさまで毎晩私はこの二匹と丸くなつて寝ています。

どんなことにも学びはあります、この猫たちにも学ばせてもらうことがたくさんあります。タマちゃんは脚が一本ないので、ジュタのように高くジャンプすることができます。高いところで寛ぐジュタを下から見上げて「ニヤン」と声をかけていることもあります。でも、そのことで卑屈になつたりいじけたりすることは絶対にありません。踏み台を利用し遠回りをして自分の行けるルートでお気に入りの場所を確保して、とつても満足げに体をペロペロ舐めてすやすや寝ています。ジュタの方も、果たしてタマちゃんの脚が一本ないことに気づいているのかどうか？疑問ですが、そのことでタマちゃんを判断したり、過剰に気を遣つたりすることもなく至つて自然に振舞つていますし、なんなら猫プロレスでは一本しかない後ろ足を狙つて払い技をかけ、私が冷や冷やさせられています。

私たち人間はなかなかそういう訳にいきません。他人と比べ自分を卑下したり、病気やケガや外見でその人を判断したり。自然に振舞おうと思つてももう、そう思うこと自分が不自然なのでうまくいきません。では、猫になればいいのか。残念ながら人間は猫にはなれません。が、ウイルスや情報に怯え、思うようにいかない子育てや慌ただしい生活に疲れて、心乱される毎日（猫ならどうするかな）と思つたりもします。

今年も大変お世話になりました。どうか穏やかにお過ごしください。

『仏説阿弥陀経』の俱会一処（くえいつしょ）という言葉です。どんないのちも、選ばれず、嫌われず、見捨てられずにともに出会えるところがある。そういう処（ところ）を生きたいという願いを、誰もが持つてゐるのではないでしょうか。